

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 39	防災については、全職員が必要と認識しているが、訓練の頻度が少ない事もあり、理解しているようで不安がある状態に感じる。	法人としての暫定版から正式マニュアルへの完成版の作成と防災委員会の定期開催により、全職員が想定時、自身の役割をイメージ化し実施出来るようにする。	法人でR3年に防災委員会を設け、特養・GH合同で知識の補充と共有が出来るようになった。R4年度に向けGH単独の定期開催と特養との合同開催を重ね、非日常だった防災を日常生活の一部へと感じられるようにしたい。	12ヶ月
2	13	感染症という新しい生活が長引いた事もあり、コロナウイルスのみに気持ちが行きがちになっている。COVID19だけでなく、全ての感染症対策を意識でき、ご利用者様の安心・安全を守るのは私たち職員という意識を定着させたい。	定期的に感染症予防に関する研修の機会を持ち、共通の危機感を通し、知識の補充を積極的に出来るようにする。	1月に実施した石川県看護協会による感染症対策研修の出張講座で多くの職員が一緒に参加できたことで、同時に同じ知識を得て疑問・質問を行う事で新たにリスタート出来た。ここから全員で所内研修などを通し知識の積み重ねをしていく。	12ヶ月
3	18	多忙時は、ご利用者様との関わりが職員本位になりがち。	定期的に身体拘束や虐待、接遇の研修をし、職員同士で職員本位な関わりをけん制しあえるようにする。	新任のユニットリーダーが1年の経験を経て理念への理解も深まってきた。ご利用者様と共に支えあう「安心・あったか・続く暮らし」の継続のため、リーダーを中心に啓蒙しあう事に努めてもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。